

## 第2学年 国語科学習指導案

平成28年1月20日(水) 5校時

2年1組(男子12名 女子9名 計21名) 本時9/16

授業者 森田 幸子

- 1 **単元名** 場面のようにすを思いうかべて読もう  
心の扉があいたよ ～わたしの『ペープサート劇』へ ようこそ～  
**教材名** 「ニャーゴ」(東京書籍2年下)

### 2 単元の目標

- いろいろな物語を楽しんで読み、心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介することができる。(関心・意欲・態度)
- 心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するために、場面の様子を登場人物の行動や会話を中心に想像して読むことができる。(C 読むこと ウ)
- 文章の内容と自分の知識や経験などを結び付けながら、心の扉があいたところを選び、操作や音声を工夫して『ペープサート劇』を演じることができる。(C 読むこと オ)
- 「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読むことができる。(言(1)イ(カ))

### 3 単元について

#### (1) 単元観

##### ①本単元で取り上げる主な指導事項

本単元は、小学校学習指導要領・国語の第1学年及び第2学年「C 読むこと」の指導事項「(1)ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」  
「(1)オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」を取り上げて指導する。

##### ②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「ア 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。」  
「イ 物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること。」を具体化した「心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介しよう。」という言語活動を位置づける。

ここで取り上げる「心の扉があいたよ ～わたしの『ペープサート劇』へ ようこそ～」は、並行読書で読んだ本の中から、自分のお気に入りの物語を選び、心の扉があいたところとその理由等をセリフブックにまとめて、ペープサートで紹介し合う学習である。

児童は、本単元に入る前から並行読書を行うことで、第二次までに自分のお気に入りの本を見つけることができる。そして、教材文と関連させながらA・Bワンセット方式で作成していくセリフブックをもとに学習を進めていく。まず、その本に出てくる登場人物をおさえ、あらすじ、紹介したいところを見つけるために簡単な場面分けを行う。次に、ペープサートを動かしながら、文章全体を繰り返し読み、心の扉があいたところとその理由をまとめ、読み方やペープサートの動かし方を教材文やお気に入りの文に書きこんでいく。そして、その書いたことを手がかりにして、ペープサートを動かしながら心の扉があいたところがよく伝わるよう音読表現ができるようにする。このことは、本単元で狙う「登場人物の行動や会話を中心に、心の扉があいたところの様子を思い浮かべながら読む能力」の育成につながると考えられる。そして、その本の心の扉があいたところとその理由、さらに読み方やペープサートの動かし方を考えることで「場面の様子を想像し、自分が感じたことや、考えたことを『ペープサート劇』で、発表することができる。」(C 読むこと オ)も実現できると思われる。

本教材は、ねこと3びきの子ねずみたちを中心に物語が展開していく。心の扉があいたところを選ぶ際、ねこと3びきの子ねずみたちの行動や会話文に着目し、それぞれの登場人物

の行動を根拠として、登場人物の気持ちを豊かに想像できるようにセリフブックにまとめるという方法で取り組んでいくようにする。この活動によって、心の扉があいたところの読み方や動かし方が整理され、『ペープサート劇』で紹介し合うことについて有効な手がかりとなってくると考えられる。

物語を読んで、「心の扉があく」のは、自分の感じ取る心（感性）やこれまでの経験に照らし、感動した場面（グッときた場面）に出会ったときである。そのとき、共感したり、反発したり、疑問に思ったりしながら、お話の世界に浸ることができる。ペープサートを動かしながら、全文を何度も読むことを大切にして、グッときた「心の扉があいたところ」を見つけさせたい。子どもたちは、物語をただ音読するだけでなく、心の扉があいたところをペープサートで演じることにより、さらに興味関心が高まり、楽しく意欲的にお話の世界を読み広げていくことができると思われる。

## （2）児童観

児童は、4月「風のゆうびんやさん」では、自分の好きな場面を選び、場面の様子や人物の様子を思い浮かべながら語のまとめりや言葉の響きを楽しんで読む学習を行った。

今年度4月に行った標準学力調査の結果を見ると「自分の考えが明確になるように文を書く力」に課題が見られたため、5月「たんぼぼ」では、自分の興味を持って選んだ草花の本から必要な言葉を抜き出して『草花のひみつカード』を書き、紹介し合う学習を行った。6月「お手紙」では、お気に入りの物語の大好きな登場人物をお話会で紹介し合う学習を行ってきた。この学習を通して、登場人物の人物像を手がかりに大好きな登場人物がどんなことをしたのか、それを読んでどんなことを思ったのか、どの児童もリーフレットに自分の考えを焦点化して好きな登場人物やそのわけをまとめることができた。また、「ふたりはシリーズ（全20話）」のシリーズ読書をし、交流することでそれぞれの物語に出てくるがまくんとかえるくんを関連させて共感したり、登場人物の新たな一面にも気付いたりすることができた。また、10月「名前を見てちょうだい」では、お気に入りの場面を選び、人物の様子を想像しながら、音読や動作（音読劇）で表現する学習を行った。さらに12月「かさこじぞう」では、いろいろな昔話を読んで昔話のおもしろさを見つけ、『おすすめカード』に書いて友だちに伝え合う学習もしてきた。しかし中には、どうしても恥ずかしさが先にたち、想像したことや思い浮かべたことを音声表現することが難しい児童がいる。

そこで本単元では、登場人物の行動や会話文に着目して、心の扉があいたところの様子を思い浮かべながらペープサートを使うことで少しでも恥ずかしさを取り除き、自分の感じたことを素直に音声表現する力をつけたいと考えた。また、人物の行動や会話から気持ちを想像するなど、その人物に心を通わせながら想像を広げて読む力も付けていきたいと考える。さらに、この学習は第3学年3月「モチモチの木」での音読発表の学習へとつながっていくため、読みによって表現する力もつけていきたい。

## （3）指導観

第一次では、教師による本の読み聞かせを聞いたり、『ペープサート劇』のモデルを見たりして単元のゴールイメージをつかむとともに物語を楽しみ、読書への意欲が持てる導入とする。そして、並行読書の中からお気に入りの物語の「心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介しよう」という学習のめあてをつかませる。また、本教材に入る前から並行読書ができる環境整備をし、第二次での活動にスムーズに入ることができるようにしておく。

第二次では、登場人物の行動や会話文から間の取り方や、読むはやさ、声のトーンなど登場人物の気持ちを考えて読み方やペープサートの動かし方を考える。この際、ペープサートを動かしながら試行錯誤することにより、自分が想像を膨らませた人物の様子や気持ちが伝わるような表現の仕方を見つけることができると考える。さらに、ペア学習で友だちのやり方を見たり友だちに聞いてもらったりすることにより、自分の読み方やペープサートの動かし方に改良や工夫を加えるというような児童の表現活動の高まりを期待することができる。

そして、『ペープサート劇』を発表する交流学习へとつなげていく。これと並行して、教科書教材「ニャーゴ」で学習したすぐ後、自分がこれまで読んできた並行読書の中から選んだお気に入りの心の扉があいた本で、前時間と同じ活動を行う。教科書で学習したことをすぐに自分の読みに役立て、前時につけた力を活用させる場を設定する。

第三次では、並行読書で選んだお気に入りの本の中から、心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介し合う。その後の感想を伝え合う学習では、自分自身の読みをふり返るとともに、友だちの読みも認め合えるように配慮する。また、同じ物語でも自分と違うところを選んでいたり友だちと一緒に読んでいたところだけど会話文の読み方や動かし方が違ってたり友だちに焦点を当て、一人ひとりの感じ方や捉え方の違っていることが、物語を読む楽しさの一つでもあることに気付かせ、今後も色々な本を読もうとする意欲に繋げていきたい。

本時では、自分が選んだお気に入りの物語の心の扉があいたところとそのわけを考える学習を行う。前時に「ニャーゴ」で、心の扉があいたところとそのわけを考える学習をおこなっているのので、児童は前時の学習を生かしながら取り組むことができるであろう。登場人物のしたことや言ったことからどんなことを思ったか自分の考えが明確になるように心の扉があいたところとそのわけをまとめさせていきたい。この際、登場人物の行動や会話に注目して書けるようにするとともに、「～（人物）が～（行動）をして、～だと思ったから」というように、自分の思いや考えを入れた文章で表現できるようにする。そのために、書くことを明確にした後、児童が取り組むことができるように配慮する。言語活動の質を高めるために、ペープサートを動かしながらペアで交流する場面を考えている。言葉だけでなく、ペープサートを動かすことも自己表現の一つだと捉え、読み方や動かし方に工夫を加えることで児童が捉えている登場人物の思いを多様に表現することが可能だと考える。また、友だちに聞いてもらい感想をもらったり友だちの発表を聞いたりすることにより、「次はこう言ってみよう」「あの動かし方を真似してみよう」といった気付きにも繋がる。これらの活動を通して、行動や会話を中心に想像を広げながら読むことが可能になると考える。

#### （４）研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通した目的やゴールイメージをもって言語活動を進めていく展開にしていく必要がある。そこで導入では、並行読書を紹介したり、教師による本の読み聞かせや教師が作成した「心の扉があいたよ ～わたしの『ペープサート劇』へ ようこそ～」のモデルを見せたりして、単元のゴールイメージを具体的に示す。単元全体の学習の見通しを持たせることで、児童は目的意識をもち、友だちに自分の心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介し交流するために主体的に学習を進めていくと考えられる。

児童自ら主体的に活動するためには、「分かった」「できそう」「できた」「もっとやってみよう」という思いを持つこと、そして、その機を逃がさない評価が重要である。そこで、二次では、A・Bワンセット方式を取り入れ、「分かった」（理解）→「やってみよう」（意欲）→「できた」（達成感）→「もっとやってみよう」（意欲）という「A」での学びを「B」で活用することを意識しながら取り寄せ、前時に学習したことを生かして主体的に学ぶ力を積み重ねたい。そのためには、次時の学習に関する家庭学習を出すことによって、次の日の学習の準備をし、児童のペープサート劇作りに対する意欲を途切らすことのないよう取り組んでいくことが大切だと思われる。

物語を読む場合、一番大切にしたいことは、「楽しみながら読む」ことである。そのことを実感するのは、心の扉があいたところ（グッときたところ・感動したところ）にであったとき、登場人物を自分と比べてみたり、立ち止まって考えたり、その物語の主人公になって考えたり、物語の人物に同化して読み進めるときである。そこで三次では、『ペープサート劇』を紹介し合うことで、音読にも自信を持たせ、次の学年への足がかりとさせたい。そして、さらにこれからも楽しんで読書をしようとする態度を育て、いろいろな本を読んでみようという意欲にもつなげていきたい。

#### 4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・いろいろな物語を楽しんで読み、心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介しようとしている。
読む能力	・心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するために、場面の様子を登場人物の行動や会話を中心に想像して読んでいる。 (ウ) ・文章の内容と自分の知識や経験などを結び付けながら、心の扉があいたところを選び、操作や音声を工夫して『ペープサート劇』を演じている。 (オ)
言語についての 知識・理解・技能	・「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読んでいる。  イ(カ)

＜言語活動のモデル「心の扉があいたよ わたしの『ペープサート劇』へ ようこそ～＞  
【ペープサートの表】 【ペープサートの裏】



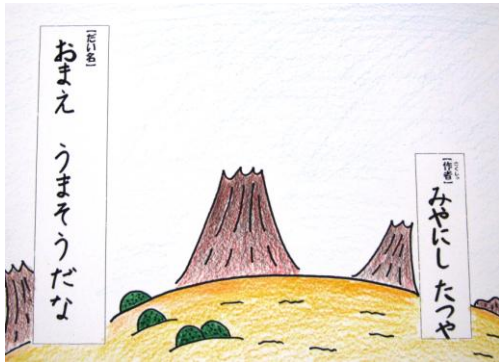
# 【セリフブック】

## 【表】

物語の題名を書く。

心の扉があいた  
(グツときた) 場面の  
バックの絵を描く。

作者名を書く。



## 【裏】

登場人物を書く。

既習事項のお話のまとめを書く。  
「〜が〜したお話」

心の扉があいたところ  
(グツときたところ) を書く。  
「〜が〜したところ」

ペープサートの(表・裏)をどのセリフの  
時に変えるか記入しておく。

心の扉があいたところ(グツときたところ)  
に線を引き、読み方や動かし方を書きこむ。



自分の名前を書く。

心の扉があいたわけ  
(グツときたわけ) を書く。  
会話文や行動から自分の想  
像したことを入れながら、  
記述する。

## 5 単元構想図

### 単元を貫く言語活動

心の扉があいたところ（グッときたところ）を『ペープサート劇』で紹介する。

#### ◇学習の流れ

並行読書

#### 第一次

- 本の読み聞かせと『ペープサート劇』のモデルを見て物語を読むことへの興味を持つ。
- 並行読書の中から、お気に入りの物語の「心の扉があいたところ」を『ペープサート劇』で紹介しよう。」というめあてをつかむ。

#### 第二次

- A 登場人物を確認し、「ニャーゴ」の大まかなあらすじをつかむ。紹介したいところを見つけるために挿絵から簡単な場面分けをする。
- B 登場人物を確認し、お気に入りの物語の大まかなあらすじをつかむ。紹介したいところを見つけるために挿絵から簡単な場面分けをする。
- A B 好きな登場人物のお気に入りの「したこと」や「言ったこと」を見つけて、ペープサートを動かしながら文章全体を繰り返し読む。
- A B 心の扉があいたところとその理由を見つけながら読み、ペープサートを動かしたり、読み返したりする。
- A B 心の扉があいたところの登場人物の行動や会話をどのように工夫して読んだらいいかペープサートを動かしながら考える。

#### 第三次

- 心の扉があいたところが伝わるように、ペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』をする。
- 心の扉があいたところの交流から発見したことを話し合い、これまでの学習を振り返る。

#### ◇意識の流れ

##### 【児童の実態】

- ・場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、読む力を付けてきている児童もいるが、恥ずかしくて登場人物の気持ちが伝わるように音声によって表現することが難しい児童もいる。
- ・心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するんだね。
- ・どんな『ペープサート劇』をしようかな。
- ・いっぱい本を読んで、心の扉があいたところを紹介したいな。『ペープサート劇』楽しみだな。
- ・登場人物は、3びきの子ねずみたちとねこだね。
- ・「ニャーゴ」のお話は、こんなお話だよ。
- ・私のお気に入りの物語は、こんなお話だよ。登場人物は、～だよ。
- ・場面は、～つに分かれるよ。
- ・ここは、～が、～した場面だよ。
- ・わたしの心の扉があいたところは、～なところだよ。わけは、最初～は、～だったけど、こんなことをして（言って）～だから。
- ・このセリフは、どんな声で言ったらいいかな。ペープサートは、どんなふうにかかすといいかな。
- ・ここは、少し間をとって言うといいかな。
- ・このセリフで、ペープサートの表情を変えると気持ちがよく伝わるかな。
- ・ぼくは、～のところをこんなふうにかかしたり、言い方を工夫したりして頑張るぞ。
- ・○○さんの『ペープサート劇』を見て、心の扉があいたところがすごく伝わってきたよ。本当に登場人物が言っているみたいだったよ。
- ・『ペープサート劇』楽しかったな。もっと違うお話でもやってみよう。

#### 単元で付けたい力

- ・登場人物の行動や会話を中心に、心の扉があいたところの様子を思い浮かべながら読む力。【C 読むこと（ウ）】
- ・登場人物の気持ちを想像し、ペープサートの操作や音声で表現する力。【C 読むこと（オ）】



## 6 指導計画及び評価計画（全16時間）

	時	学習活動	主な評価規準		
第一次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     これからの学習のめあてをつかもう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による読み聞かせ、ペープサート劇のモデルを見る。</li> <li>・単元の流れを見通す。</li> <li>・感想を交流し合う。</li> </ul>	<b>【関】</b> 「心の扉があいたところ（グッときたところ）を『ペープサート劇』で紹介し合う」というめあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 （行動観察、ノート、発言）		
第二次	2	<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するために「ニャーゴ」のお話を簡単にまとめよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ニャーゴ」に出てくる登場人物をおさえ、大まかなあらすじをつかむ。 「～が、～したお話」</li> </ul>	3	<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するために、自分が選んだお気に入りの物語を簡単にまとめよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お気に入りの本に出てくる登場人物をおさえ、大まかなあらすじをつかむ。「～が、～したお話」</li> </ul>	2・3 <b>【読】</b> 物語の内容を大まかにとらえ、どんなお話か考えながら読んでいる。 （セリフブック、発言）  2・3 <b>【言】</b> 「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読んでいる。 （セリフブック、発言）
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     紹介したいところを見つけるために「ニャーゴ」のお話はどんな場面からできているか考えよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介したい場面を見つけるために挿絵をたよりに簡単な場面分けをする。（～が～した場面）</li> </ul>	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     紹介したいところを見つけるために、お気に入りの物語はどんな場面からできているか考えよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介したい場面を見つけるために挿絵をたよりに簡単な場面分けをする。（～が～した場面）</li> </ul>	4・5 <b>【読】</b> 登場人物や場所、時や挿絵を手がかりに、簡単な場面分けを行い、物語の大体を読んでいる。 （行動観察、ノート、発言）  4・5 <b>【言】</b> 「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読んでいる。 （ノート、発言）
	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するために「ニャーゴ」のお話に出てくる好きな登場人物のしたことや言ったことを見つけて読もう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペープサートを動かしながら、心の扉があいたところを見つけて、文章全体を繰り返し読む。</li> </ul>	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するためにお気に入りの物語に出てくる好きな登場人物のしたことや言ったことを見つけて読もう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペープサートを動かしながら、心の扉があいたところを見つけて、文章全体を繰り返し読む。</li> </ul>	6・7 <b>【読】</b> グッときたところを紹介するために、ペープサートを動かしながら大好きな登場人物の行動や会話を中心に読んでいる。 （行動観察、発言）

第三次	8	グッときたところを、『ペープサート劇』で紹介するために「ニャーゴ」のお話の心の扉があいたところとそのわけをまとめよう。	9・本時	グッときたところを『ペープサート劇』で紹介するためにお気に入りの物語の心の扉があいたところとそのわけをまとめよう。	8・9【読】『ペープサート劇』で表すという目的を持って、登場人物の行動や会話に気をつけて読み、場面の様子や人物の様子を想像している。 (セリフブック、発言)
		・心の扉があいたところとそのわけを見つけながら読み、ペープサートを動かしたり読み返したりする。		・心の扉があいたところとそのわけを見つけながら読み、ペープサートを動かしたり読み返したりする。	
	10・11	心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するためにどのような読み方や動かし方をしたらいいか考えよう。	12・13	心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するためにどのような読み方や動かし方をしたらいいか考えよう。	10～13【読】ペープサートを動かしながら、想像した人物の気持ちが伝わるように『ペープサート劇』の発表の仕方(操作や音声)を工夫している。 (行動観察、教材文、お気に入りの物語のコピー、発言)
		・心の扉があいたところの文や言葉に、読み方や動かし方を書きこむ。 ・ペープサートを動かしながら、効果的な読み方や動かし方を考える。		・心の扉があいたところの文や言葉に、読み方や動かし方を書きこむ。 ・ペープサートを動かしながら、効果的な読み方や動かし方を考える。	
	14	心の扉があいたところが伝わるように、「ニャーゴ」のお話の『ペープサート劇』をしよう。	15	心の扉があいたところが伝わるように、お気に入りの物語の『ペープサート劇』をしよう。	14・15【関】「心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介しよう」というめあてに向かい、意欲的に伝えようとしている。 (行動観察) 14・15【読】心の扉があいたところが伝わるようにペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』を演じている。 (行動観察、発言)
		・心の扉があいたところが伝わるように、ペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』をする。		・心の扉があいたところが伝わるようにペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』をする。	
16	心の扉があいたところの『ペープサート劇』はどうだったかふりかえろう。			16【関】「心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介しよう」というめあてに向かい、意欲的に伝えようとしていたか振り返り、これからは色々な本を読もうとしている。 (行動観察、発言、ノート)	
	・心の扉があいたところの交流から発見したことを話し合い、感想を発表し合う。 ・これまでの学習の振り返りをする。				



## 7 学習の展開

### 第一次 1時間目 (1/16)

- (1) 目標 「心の扉があいたところ(グッときたところ)を『ペープサート劇』で紹介しよう」というめあてに興味を持ち、これからの学習の見通しをもつことができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">思考したくなる課題設定</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">これからの学習のめあてをつかもう。</p>	<p>○ペープサートやセリフブックを見せ、学習への意欲づけをする。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) ペープサート劇のモデルを見て、学習の見通しをもつ。</p> <p>(3) 学習の流れを見通す。</p> <p>(4) 並行読書について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み終わった本に○をつけているか確認する。</li> <li>・心の扉があいた本(グッときた本)に◎をつけているか確認する。</li> <li>・並行読書を読み進める。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するんだね。</li> <li>・早くペープサート劇をしたいなあ。楽しみだなあ。</li> </ul>	<p>○読み聞かせの後、教師のモデルを見せ、意欲をもたせる。</p> <p>【おまえ うまそうだな】 (宮西 達也)</p> <p>○「自分の心の扉があいたところを『ペープサート劇』にして紹介する」という学習の見通しをもたせる。</p> <p>○教師作成の「学習の流れ」を見せ、目的意識をもたせる。</p> <p>○並行読書の記録カードの記録の仕方を確認し、まだ読んでいない本があれば、読み進めていこうという意欲づけを図る。</p> <p>☆「心の扉があいたところ(グッときたところ)を『ペープサート劇』で紹介しよう」というめあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>【関】(行動観察、ノート、発言)</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">家庭学習のサイクル化</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>「ニャーゴ」は、どんなお話か考えながら音読し、ノートに登場人物を書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は、教材文「ニャーゴ」はどんなお話か、短く簡単にまとめる学習をすることを伝える。</p>

## 第二次 1時間目 (2 / 16)

### (1) 目標

- ・物語の内容を大まかにとらえ、どんなお話か考えながら読むことができる。
- ・「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読むことができる。

### (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>思考したくなる課題設定</b></p> <p>心のとびらがあいたところを『ペープサートげき』でしようかいするために</p> <p>「ニャーゴ」のお話をかんたんにまとめよう。</p>	<p>○単元のゴールをみんなで確認し、目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 教材文「ニャーゴ」を全文音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物を確認する。</li> </ul> <p>(2) セリフブックの書き方を確認する。</p> <p><b>自力解決の場</b></p> <p>(3) 家庭学習をもとに「ニャーゴ」のお話をセリフブックに簡単にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって書けばいいのかな。</li> <li>・家でも考えてきたよ。</li> <li>・ねこが～したお話。</li> <li>・3びきの子ねずみたちが～したお話。</li> <li>・～が～したお話。</li> </ul> <p><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(4) まとめたことをペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語が書けているね。</li> </ul> <p>(5) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お話にはいろんなまとめ方があるね。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんのまとめ方は、わかりやすいな。</li> <li>・明日は、お気に入りの本を簡単にまとめたいな。</li> </ul>	<p>○登場人物がしたこと気に付けて読むように声がけし、教材文を音読する。</p> <p>○題、作者、自分の名前、登場人物(簡条書き)の書き方をおさえる。</p> <p>○「～が、～したお話」と短くまとめることを確認し、教師もお話のまとめ方を示す。</p> <p>※教師のモデルのセリフブックを参考にさせたり、家庭学習で考えてきたことをもとにさせたりしながらまとめるよう個別に支援する。</p> <p>☆物語の内容を大まかにとらえ、どんなお話か考えながら読んでいる。</p> <p>【読】(セリフブック、発言)</p> <p>☆「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読んでいる。</p> <p>【言】(セリフブック、発言)</p> <p>○交流の際は、友だちと違うところや同じところを比べながら興味を持って聞くことができるように指示したり、支援したりする。</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>自分が選んだお気に入りの物語はどんなお話か考えながら音読し、ノートに登場人物を書いてくる。</p>	<p>○次時は、自分が選んだお気に入りの物語はどんなお話か、短く簡単にまとめる学習をすることを伝える。</p>

## 第二次 2時間目 (3/16)

### (1) 目標

- ・お気に入りの物語の内容を大まかにとらえ、どんなお話か考えながら読むことができる。
- ・「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読むことができる。

### (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">思考したくなる課題設定</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識を持たせて、前時とのつながりを意識させる。</p>
<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">心のとびらがあいたところを『ペーパーサートげき』でしようかいするために</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">お気に入りのものがたりをかんとんにまとめよう。</p> <p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) お気に入りの物語を全文読む。</p> <p>(2) セリフブックの書き方を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">自力解決の場</p> <p>(3) 登場人物をセリフブックに書く。</p> <p>(4) 家庭学習をもとにお気に入りの物語をセリフブックに簡単にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ニャーゴ」でやったようにまとめるといいんだね。</li> <li>・家でも考えてきたよ。</li> <li>・～が～したお話。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">かかわり合う授業</p> <p>(5) まとめたことをペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんは、そういうふうまとめたのか。</li> </ul> <p>(6) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あの本、たしかにそんなお話だったね。</li> <li>・主語と述語が書けているね。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お話にはいろんなまとめ方があるね。</li> <li>・もう一回読んでみたくなったな。</li> </ul>	<p>○登場人物がしたこと気をつけて読むように指示した上で、お気に入りのお話を読む。</p> <p>○教材文「ニャーゴ」でやったように題、作者、自分の名前、登場人物（箇条書き）の書き方をおさえる。</p> <p>○教材文「ニャーゴ」でやったように「～が、～したお話」とまとめることを確認し、教師もお話のまとめ方を示す。</p> <p>※教材文「ニャーゴ」で学習したことを思い出させる。教師のモデルのセリフブックを参考にさせたり、家庭学習で考えてきたことも、もとにさせたりしながらまとめさせる。</p> <p>☆物語の内容を大まかにとらえ、どんなお話か考えながら読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">【読】(セリフブック、発言)</p> <p>☆「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">【言】(セリフブック、発言)</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">家庭学習のサイクル化</p> <p style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">家庭学習</p> <p style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">「ニャーゴ」は、いくつかのお話からできているのか考えながら全文を音読してくる。</p>	<p>○次時は、教材文「ニャーゴ」は、いくつかのお話からできているのか学習することを伝える。</p>

## 第二次 3時間目 (4 / 16)

### (1) 目標

- ・登場人物がしたことや出来事に気をつけて、内容の大体を読むことができる。
- ・「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読むことができる。

### (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>思考したくなる課題設定</b></p> <p>しょうかいしたいところを見つけるために</p> <p>「ニャーゴ」のお話はどんな場めんからできているか考えよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 全文を通読する。</p> <p>(2) 「ニャーゴ」のあらすじに合うように挿絵を並び替え、場面分けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの場面に分けられるかな？</li> <li>・家でも考えてきたよ。</li> <li>・五つの場面に分けられるんじゃないかな。</li> </ul> <p><b>自力解決の場</b></p> <p>(3) 挿絵をもとに、各場面を短くまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって書けばいいのかな？</li> <li>・挿絵を見ると・・・。</li> <li>・ねこがしたことは・・・。</li> <li>・3びきの子ねずみたちがしたことは・・・。</li> <li>・登場人物の気持ちも入れて、まとめてみよう。</li> <li>・～が～した場面</li> </ul> <p><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(4) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そういう場面だったね。</li> <li>・主語と述語が書けているね。</li> <li>・○○君のまとめ方は分かりやすいな。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんなまとめ方があるんだな。</li> <li>・最初は、どうやって、まとめたらいいかわからなかったけど、挿絵を見たり、お友だちの発表を聞いたりしたら、まとめ方がわかったよ。</li> </ul>	<p>○登場人物の様子分かるように音読させる。</p> <p>○出来事の順番に挿絵を並び替える。</p> <p>○既習事項（時、場所、人物など）によって、場面わけをすることを確認する。</p> <p>○五つの場面に分けられることを確認する。</p> <p>※挿絵を手がかりにねこと3びきの子ねずみたちの行動や会話に目を向けるように声をかけ支援する。</p> <p>※困っている児童には、まずその場面には「誰が出てくるか」、そして、その人が「何をしたか」を書くことができるように支援する。</p> <p>☆登場人物や場所、時や挿絵を手がかりに簡単な場面分けを行い、物語の大体を読んでいる。</p> <p>【読】（行動観察、ノート、発言）</p> <p>☆「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読んでいる。</p> <p>【言】（ノート、発言）</p> <p>○交流の際は、友だちと違うところや同じところを比べながら興味を持って聞くことができるように指示したり、支援したりする。</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>お気に入りの物語は、いくつかのお話からできているのか考えながら全文を音読してくる。</p>	<p>○次時は、お気に入りの物語は、いくつかのお話からできているのか学習することを伝える。</p>

## 第二次 4時間目 (5/16)

### (1) 目標

- ・お気に入りの物語の登場人物がしたことや出来事に気をつけて、内容の大体を読むことができる。
- ・「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読むことができる。

### (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>思考したくなる課題設定</b></p> <p>しょうかいしたいところを見つけるために</p> <p>お気に入りのものがたりは、どんな場めんからできているか考えよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識を持たせて、前時とのつながりを意識させる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p><b>自力解決の場</b></p> <p>(1) 挿絵をもとに、いくつの場面に分けるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつの場面にわかれるかな？</li> <li>・家でも考えてきたよ。</li> <li>・場面を分けるときは、挿絵を見たり時、場所、人物などがかわったりしたところから考えるとよかったんだな。</li> <li>・このお話は、○つの場面からできているな。</li> </ul> <p>(2) 挿絵をもとに、各場面を短くまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって書けばいいのかな。</li> <li>・「ニャーゴ」でやったようにまとめるといいんだね。</li> <li>・～がしたことは、・・・。</li> <li>・登場人物の気持ちを入れてまとめてみよう。</li> <li>・～が～した場面</li> </ul> <p><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(3) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語が、書かれているね。</li> <li>・あのお話、あんな場面あったよね。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は、どうやって、まとめたらいいかわからなかったけど、ニャーゴでやったから、簡単だったよ。</li> <li>・あのお話、また読みたくなったよ。</li> <li>・ペープサート劇が楽しみな。</li> </ul>	<p>※困っている児童にはニャーゴでやったことを思い出させ、挿絵を手がかりにいくつの場面に分けるか声をかけ支援する。</p> <p>※挿絵を手がかりに中心人物の行動や会話に目を向けるように声をかけ支援する。</p> <p>※困っている児童には、まずその場面には、「誰が出てきたか」を尋ね、はっきりとさせることで、続き「何をしたか」を書くことができるように支援する。</p> <p>☆登場人物や場所、時や挿絵を手がかりに簡単な場面分けを行い、物語の大体を読んでいる。</p> <p>【読】(行動観察、ノート、発言)</p> <p>☆「誰が」「どうした」に気をつけて、文章を読んでいる。</p> <p>【言】(ノート、発言)</p> <p>○全体で交流する際は、「～が・・・した場面」と書いているかに気をつけて聞くことができるように声をかける。</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>「ニャーゴ」のお話に出てくる大好きな登場人物のしたことや言ったことに線を引いてくる。</p>	<p>○次時は、ペープサートを動かしながら、大好きな登場人物のしたことや言ったことを見つけながら読む学習をすることを伝える。</p>

**第二次 5時間目（6／16）**

(1) 目標 グッときたところを『ペープサート劇』で紹介するために、大好きな登場人物の行動や会話を中心に読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>思考したくなる課題設定</b></p> <p>心のとびらがあいたところを『ペープサートげき』でしようかいするために</p> <p>「ニャーゴ」のお話に出てくる大すきなとう場人ぶつのことや言ったことを見つけて読もう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p><b>自力解決の場</b></p> <p>(1) 大好きな登場人物のお気に入りの「したこと」や「いったこと」を見つけて、ペープサートを動かしながら文章全体を繰り返し読む。</p> <p><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(2) ペープサートを動かしながら、ペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの大好きな登場人物は、～だよ。</li> <li>・気に入っているところは、～が、～と言った(～した)ところだよ。</li> </ul> <p>(3) ペープサートを動かしながら、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、○○君と同じだ。</li> <li>・ぼくは、○○さんと似ていて・・・。</li> <li>・わたしは、○○君とちがって、・・・。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大好きな登場人物は、いろいろ違うんだな。</li> <li>・大好きな登場人物は同じでも、お気に入りのしたことや言ったところは、違うんだな。</li> </ul>	<p>○登場人物のしたことや言ったことがよく分かるように気持ちをこめて音読するよう声をかける。</p> <p>※行動と会話文に着目させながら、大好きな登場人物のしたことや言ったことを見つけることができるよう支援する。</p> <p>☆グッときたところを紹介するためにペープサートを動かしながら大好きな登場人物の行動や会話を中心に読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">【読】(行動観察、発言)</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>お気に入りの物語の大好きな登場人物のしたことや言ったことに線を引いてくる。</p>	<p>○次時は、ペープサートを動かしながら、大好きな登場人物のしたことや言ったことを見つけながら読む学習をすることを伝える。</p>

## 第二次 6時間目 (7/16)

- (1) 目標 お気に入りの物語のグッときたところを『ペープサート劇』で紹介するために、好きな登場人物の行動や会話を中心に読むことができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">思考したくなる課題設定</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識を持たせて、前時とのつながりを意識させる。</p>
<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">心のとびらがあいたところを『ペープサートげき』でしようかいするために</p>	
<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">お気に入りのものがたりに出てくる大すきなとう場人ぶつのしたことや言ったことを見つけて読もう。</p>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">自力解決の場</p> <p>(1) 好きな登場人物のお気に入りの「したこと」や「いったこと」を見つけて、ペープサートを動かしながら文章全体を繰り返し読む。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">かかわり合う授業</p> <p>(2) ペープサートを動かしながら、ペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、「○○」という本を選んだよ。</li> <li>・好きな登場人物は、～だよ。わけはね・・・。</li> <li>・ぼくの気に入っているところは、～が～と言った(～した)ところだよ。</li> </ul> <p>(3) ペープサートを動かしながら、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その物語は、選んでないけど、私もその本に出てくる～が大すき。</li> <li>・ぼくは、その本では、～が、～と言った(～した)ところが気に入っているよ。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ本でも、好きな登場人物は、違うんだな。</li> <li>・好きな登場人物は同じでも、お気に入りのしたことや言ったところは、違うんだな。</li> </ul>	<p>○登場人物のしたことや言ったことがよく分かるよう気持ちをこめて音読するよう声をかける。</p> <p>※行動と会話文に着目させながら、好きな登場人物のしたことや言ったことを見つけることができるよう支援する。</p> <p>☆グッときたところを紹介するためにペープサートを動かしながら好きな登場人物の行動や会話を中心に読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">【読】(行動観察、発言)</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">家庭学習のサイクル化</p> <p style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>家庭学習</b>  「ニャーゴ」のお話を読み、心の扉があいたところ(グッときたところ)とそのわけを考えてくる。 </p>	<p>○次時は、「ニャーゴ」のお話の心の扉があいたところとそのわけをまとめる学習をすることを伝える。</p>



## 第二次 7時間目 (8/16)

- (1) 目標 心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するために、場面の様子を登場人物の行動や会話を中心に想像して読むことができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>思考したくなる課題設定</b></p> <p>グッときたところを『ペープサートげき』でしようかいするために</p> <p>「ニャーゴ」のお話の心のとびらがあいたところとそのわけをまとめよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p><b>自力解決の場</b></p> <p>(1) セリフブックの書き方を確認する。</p> <p>(2) 「ニャーゴ」の心の扉があいたところとそのわけをセリフブックに書き、ペープサートを動かしながら何度も読み返す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしの心の扉があいたところは、～ところ。</li> <li>・わけは、最初ねこは、子ねずみたちを食べようと思っていたけど、子ねずみたちにこんなことをしてもらって、食べなかったから。</li> <li>・わけは、子ねずみたちが、こんなことを言って (こんなことをして) 優しいなと思ったから。</li> </ul> <p><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(3) ペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんといっしょで、ぼくもそう思ったよ。</li> <li>・わたしも同じところで、心の扉があいたよ。でもわけはちがって・・・。</li> <li>・○○君は、そこが心の扉が開いたんだね。わたしは、ここだよ。でもそこも感動するよね。</li> </ul> <p>(4) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくも、○○さんと似ていて・・・。</li> <li>・ぼくは、ちょっと違って・・・。</li> <li>・○○君は、あの行動から、そんなふうに思ったのか。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、そこは、選んでないけど、そこを読んだ時、～と思ったよ。</li> <li>・心の扉があいたところは、みんないろいろ違うんだな。</li> <li>・心の扉があいたところは一緒でも、わけは、いろいろ違うんだな。</li> </ul>	<p>○教師の作ったセリフブックを参考にさせる。</p> <p>○前時をもとに、登場人物の行動や会話について自分の思いや考えを書くことができるようにする。</p> <p>※行動や会話文に着目させながら心の扉があいたところと、なぜその場面を選んだのか、わけが書けるように一つずつ尋ねることで支援する。</p> <p>○交流の際は、友だちと違うところや同じところを比べながら興味を持って聞くことができるようにし、友だちの意見の内容に対しての感想を返すようにする。</p> <p>☆『ペープサート劇』で表すという目的を持って、登場人物の行動や会話に気をつけて読み、場面の様子や人物の様子を想像している。</p> <p>【読】(セリフブック、発言)</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>お気に入りの物語を読み、心の扉があいたところ (グッときたところ) とそのわけを考えてくる。</p>	<p>○次時は、お気に入りの物語の心の扉があいたところとそのわけをまとめる学習をすることを伝える。</p>

**第二次 8時間目（9／16） 本時**

- (1) 目標 お気に入りの物語の心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するために、場面の様子を登場人物の行動や会話を中心に想像して読むことができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;"><b>思考したくなる課題設定</b></p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識を持たせて、前時とのつながりを意識させる。</p>
<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">グッときたところを『ペープサートげき』でしようかいするために</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px;">お気に入りのものがたりの心のとびらがあいたところとそのわけをまとめよう。</p>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;"><b>自力解決の場</b></p> <p>(1) セリフブックの書き方を確認する。</p> <p>(2) お気に入りの物語の心の扉があいたところとそのわけをセリフブックに書き、ペープサートを動かしながら何度も読み返す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ニャーゴ」でやってみたいに書けばいいんだな。</li> <li>・家でも考えてきたよ</li> <li>・わたしの心の扉があいたところは、～したところ。わけは、～が～して（言って）、優しいなと思ったから。</li> <li>・最初 ～は、～を～しようと思っていたけど、～がやられそうになった時、～しようとしたから。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;"><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(3) ペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私の心の扉があいたところは、～ところ。わけは、～だから。○○君は、どう思った？</li> <li>・○○君は、そこが心の扉があいたんだね。わたしは、ここだよ。でもそこも感動するよね。</li> </ul> <p>(4) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしも同じところで、心の扉があいたよ。でもわけはちがって・・・。</li> <li>・○○さんは、あの行動から、そんなふうに思ったのか。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんは、そんなことを思ったのか。ぼくは、その本を、選んでないけどこう思ったよ。</li> <li>・みんないろんなところで、心の扉があいたんだな。</li> <li>・わけもいろいろあるんだな。</li> </ul>	<p>○教師の作ったモデルや「ニャーゴ」で作ったセリフブックを参考にさせる。</p> <p>○前時をもとに、登場人物の行動や会話について自分の思いや考えを書くことができるようにする。</p> <p>※行動や会話文に着目させながら、前時「ニャーゴ」で学習したことを思い出し、一番グッときたところとそのわけが書けるよう支援する。</p> <p>○交流の際は、友だちと違うところや同じところを比べながら興味を持って聞くことができるようにし、友だちの意見の内容に対する感想を返すようにする。</p> <p>☆『ペープサート劇』で表すという目的を持って、登場人物の行動や会話に気をつけて読み、場面の様子や人物の様子を想像している。</p> <p style="text-align: right;">【読】（セリフブック、発言）</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;"><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"><b>家庭学習</b></p> <p style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px;">『ペープサート劇』をするために「ニャーゴ」のお話の心の扉があいたところ（グッときたところ）をどんな読み方をしたらいいか、考えながら工夫して音読してくる。</p>	<p>○次時は、『ペープサート劇』をするために心の扉があいたところ（グッときたところ）をどのような読み方をしたらよく伝わるか学習することを伝える。</p>

(3) 評価規準

B 本時で概ね満足できる状況

◆グッときたところを『ペープサート劇』で紹介するために、心の扉があいたわけをまとめている。

【心のとびらがあいたわけ】

わけは、ティラノサウルスは、さいしょウマソウを食べようとしたけど、ウマソウがキラнтаイサウルスにやられそうになったとき、ひっしにまもろうとしたからです。

A 本時で十分満足できる状況

◆グッときたところを『ペープサート劇』で紹介するために、会話文や行動から自分の想像したことを入れながら、心の扉があいたわけをまとめている。

【心のとびらがあいたわけ】

わけは、ティラノサウルスは、さいしょウマソウを食べようとしたけど、ウマソウがキラнтаイサウルスにやられそうになったとき、ひっしにまもろうとしたからです。

お父さんとしんじきっているウマソウのむじゃきさ（かわいらしさ）が、らんぼうものだったティラノサウルスの気もちをやさしい心にかえたんだと思います。

(4) 板書計画

本の題名 ・・・ だから	本の題名 ・・・ だから	本の題名 ・・・ だから	わたしの（ぼくの） お気に入りのものがたりは、 …… です。	だれが …… 言ったこと	自分が思ったこと	めあて グッときたところを『ペープサートげき』でしようかいするために お気に入りのものがたりの心のとびらがあいたところと そのわけをまとめよう。 ( )
【心のとびらがあいたところ】 …… したが、 ……			【心のとびらがあいたわけ】 わけは なぜかという なぜなら	【心のとびらがあいたわけ】		
…… だから			…… だから	……		

○  
○  
○

## 第二次 9・10時間目（10・11／16）

(1) 目標 心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するために、グッときたところの人物の気持ちが伝わるようにペープサートの操作や音声の工夫をすることができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>思考したくなる課題設定</b></p> <p>心のとびらがあいたところを『ペープサートげき』でしようかいするために</p> <p>どのような読み方やうごかし方をしたらいいか考えよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p><b>自力解決の場</b></p> <p>(1) どのような読み方や動かし方をしたら気持ちや様子がよく伝わるか、工夫して読みたいところを音声記号を使って、書き込むことを確認する。</p> <p>(2) 心の扉があいたところ（行動や会話文）に線を引く。ペープサートを動かしながら、効果的な読み方や動かし方を考え、音声記号を使って書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしの心の扉があいたところは、ここ。</li> <li>・～は、どんな声で読んだらいいかな。</li> <li>・～は、こわそうな声で大きくゆっくり読むといいかな。</li> </ul> <p><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(3) 同じ場面を選んでいるグループやペアで、効果的な読み方や動かし方を考え合い、練習し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そこは、もっとこんな声でこんなふうを読んだらいいと思うよ。わけは、～だから。</li> <li>・その読み方すごくいいね。気持ちが伝わってくるよ。</li> </ul> <p>(4) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんの動かし方がいいなあ。</li> <li>・あんなふうに動かすと、感じがでるんだな。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○君の読み方は、ねこや子ねずみたちの気持ちが良く分かるように、声の大きさを変えたり、読む速さを工夫したりしていたので、とってもいいなあ。ぼくも、もっと～の読み方を工夫してみよう。</li> <li>・○○さんにこんなアドバイスしてもらって、すごく気持ちが伝わるように言えたよ。ありがとう。</li> </ul>	<p>○前時の学習をもとに、心の扉があいたところの登場人物の行動や会話文に線を引き、効果的な読み方や動かし方を書き込むことができるようにする。</p> <p>※困っている児童には教師の作ったモデルを参考にさせ、自分が1番ペープサート劇をしたいグッときた行動や会話文に線を引くよう支援する。</p> <p>※声の大きさや読む速さなど、どんな声で読んだら登場人物の気持ちが伝わるか尋ねながら支援する。</p> <p>○自分や友だちが工夫しているところや良いところを交流し合う。友だちの読み方を聞いて、自分の音読に生かす。</p> <p>☆ペープサートを動かしながら、想像した人物の気持ちが伝わるように『ペープサート劇』の発表の仕方（操作や音声）を工夫している。</p> <p>【読】（行動観察、教材文、発言）</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>『ペープサート劇』をするためにお気に入りの物語の心の扉があいたところ（グッときたところ）をどんな読み方をしたらいいか、考えながら工夫して音読してくる。</p>	<p>○次時は、『ペープサート劇』をするためにお気に入りの物語の心の扉があいたところ（グッときたところ）をどのような読み方をしたらよく伝わるか学習することを伝える。</p>

**第二次 11. 12時間目 (12・13/16)**

- (1) 目標 心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介するために、グッときたところの人物の気持ちが伝わるようにペープサートの操作や音声の工夫をすることができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>思考したくなる課題設定</b></p> <p>心のとびらがあいたところを『ペープサートげき』でしようかいするために</p> <p>どのような読み方やうごかし方をしたらいいか考えよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識を持たせて、前時とのつながりを意識させる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p><b>自力解決の場</b></p> <p>(1) どのような読み方や動かし方をしたら気持ちや様子がよく伝わるか、工夫して読みたいところを音声記号を使って、書き込むことを確認する。</p> <p>(2) 心の扉があいたところ (行動や会話文) に線を引く。ペープサートを動かしながら、効果的な読み方や動かし方を考え、音声記号を使って書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・～は、どんな声で読んでみようかな。</li> <li>・～は、～な声で、こんなふうに読むといいかな。</li> <li>・～は、間をあけて、読むといいかな。</li> </ul> <p><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(3) ペアで、効果的な読み方や動かし方を考え合い、練習し合う。(同じ物語の児童は、同じグループで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そこは、もっとこんな声でこんなふうに読んだらいいと思うよ。わけは、～だから。</li> <li>・～というところの読み方が、～の優しい気持ちが伝わってきたよ。上手だね。</li> </ul> <p>(4) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇君の読み方は、ねこや子ねずみたちの気持ちが良く分かるように、声の大きさを変えたり、読む速さを工夫したりしていたので、とってもいいなあ。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇君の読み方は、こんなふうに工夫していたので、とってもいいなあ。ぼくも、〇〇君みたいにもっと～の読み方を工夫してペープサート劇では、頑張るぞ。</li> <li>・『ペープサート劇』が楽しみだなあ。家でもいっぱい練習してくるよ</li> </ul>	<p>○前時の学習をもとに、心の扉があいたところの登場人物の行動や会話文に線を引き、効果的な読み方や動かし方を書き込むことができるようにする。</p> <p>※教材文「ニャーゴ」で学習したことを想起させ、自分が1番グッときた行動や会話文に線を引くよう個別に支援する。</p> <p>※困っている児童には、教師の作ったモデルやニャーゴで書き込んだことを参考にさせ、声の大きさや読む速さなど、どんな声で読んだら登場人物の気持ちが伝わるか尋ねながら支援する。</p> <p>☆ペープサートを動かしながら、想像した人物の気持ちや場面の様子が伝わるように『ペープサート劇』の発表の仕方を工夫している。</p> <p>【読】(行動観察、お気に入りの物語のコピー、発言)</p> <p>○自分や友だちが工夫しているところや良いところを交流し合う。さらに心の扉があいたところが伝わるよう自分の読みを工夫していく。</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>『ペープサート劇』に向けて、「ニャーゴ」のお話の心の扉があいたところ (グッときたところ) がよく伝わるように工夫して音読してくる。</p>	<p>○次時は、ニャーゴのお話の『ペープサート劇』をすることを伝える。</p>

### 第三次 1時間目（14／16）

- (1) 目標 心の扉があいたところが伝わるようにペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』を演じることができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>思考したくなる課題設定</b></p> <p>心のとびらがあいたところがつたわるように</p> <p>「ニャーゴ」のお話の『ペープサートげき』をしよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p>
<p>2 「ニャーゴ」のお話の心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介しあう。</p> <p><b>自力解決の場</b></p> <p>(1) 発表の仕方を確認し、個人で練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私の心の扉があいたところは、～が～したところです。わけは、～です。では、聞いてください。」</li> <li>・自信がないなあ。どきどきするなあ。</li> <li>・劇の仕方がわかったから、できそう。</li> <li>・楽しみだなあ。がんばるぞ。</li> </ul> <p><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(2) 心の扉があいたところが伝わるようにペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』をする。</p> <p>(3) 感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○君の「ニャーゴ」っていう声のものすごい迫力のある声で、ねこの様子がよく分かりました。</li> <li>・～というところから、子ねずみたちのかわいい様子が伝わってきました。</li> <li>・○○さんのペープサート劇は、～が伝わってくるような読み方でした。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・～というところの読み方が、声が大きくて、気持ちが伝わってきたよ。私も、○○さんみたいに気持ち込めて読めるようもっと練習しよう。</li> <li>・○○君の読み方上手だったな。楽しかったな。明日も楽しみ。家でもいっぱい練習してこよう。</li> </ul>	<p>○『ペープサート劇』の発表の仕方を示し、自信を持って紹介することができるようにする。</p> <p>※自信を持って紹介できるよう、話型を示し、そばに行き、励ましながら個別に支援する。</p> <p>※工夫して練習していたところを声をかけて評価し、自信を持って表現できるよう支援する。</p> <p>☆「心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介しよう」というめあてに向かい、意欲的に伝えようとしている。 【関】(行動観察)</p> <p>☆心の扉があいたところが伝わるようペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』を演じている。 【読】(行動観察、発言)</p> <p>○心の扉があいたところが伝わるよう工夫した読み方やペープサートの動かし方などを自分の読みと比べながら興味を持って聞くことができるようにし、感想を交流する。</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>『ペープサート劇』に向けて、お気に入りの物語の心の扉があいたところ(グッときたところ)がよく伝わるように工夫して音読してくる。</p>	<p>○次時は、お気に入りの物語の『ペープサート劇』をすることを伝える。</p>

### 第三次 2時間目（15／16）

- (1) 目標 心の扉があいたところが伝わるようにペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』を演じることができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>思考したくなる課題設定</b></p> <p>心のとびらがあいたところがつたわるように</p> <p>お気に入りのものがたりの『ペープサートげき』をしよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識を持たせて、前時とのつながりを意識させる。</p>
<p>2 お気に入りの物語のお話の心の扉があいたところをペープサート劇で紹介しあう。</p> <p><b>自力解決の場</b></p> <p>(1) 発表の仕方を確認し、個人で練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ニャーゴ」でやったペープサート劇みたいにやればいいんだね。</li> <li>・「わたしの選んだ本は、『○○○』です。心の扉があいたところは、～が～したところです。わけは、～です。では、聞いてください。」</li> <li>・ニャーゴのペープサート劇のようにがんばるぞ。</li> <li>・みんなどんなペープサート劇をするのかな。楽しみだなあ。</li> </ul> <p><b>かかわり合う授業</b></p> <p>(2) 心の扉があいたところが伝わるようにペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』をする。</p> <p>(3) 感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○君は、～のところをこんなに工夫して読んでいました。</li> <li>・○○さんの～という所の読み方が、～の優しい気もちが、伝わってきました。</li> </ul> <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は、～のところが、気持ちを込めて心の扉が伝わるように言えたと思うよ。</li> <li>・○○君の言い方は、本当に、登場人物がしゃべっているみたいだったよ。</li> <li>・ペープサート劇、楽しかったな。もっと違うお話でもやりたいな。</li> </ul>	<p>○『ペープサート劇』の発表の仕方を示し、自信を持って紹介することができるようにする。</p> <p>※自信を持って紹介できるよう話型を示し、そばに行き、励ましながら個別に支援する。</p> <p>※工夫して練習していたところを声をかけて評価し、自信を持って表現できるように支援する。</p> <p>☆「心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介しよう」というめあてに向かい、意欲的に伝えようとしている。 【関】(行動観察)</p> <p>☆心の扉があいたところが伝わるようにペープサートを動かしたり、音声を工夫したりしながら『ペープサート劇』を演じている。 【読】(行動観察、発言)</p> <p>○心の扉があいたところが伝わるような工夫した読み方やペープサートの動かし方などを自分の読みと比べながら興味を持って聞くことができるようにし、感想を交流する。</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p><b>家庭学習のサイクル化</b></p> <p><b>家庭学習</b></p> <p>お家の人にも『ペープサート劇』を紹介する。</p>	<p>○次時は、『ペープサート劇』の交流から発見したことを話し合い、感想を発表し合う学習をすることを伝える。</p>



### 第三次 3時間目（16／16）

- (1) 目標 心の扉があいたところを『ペープサート劇』で意欲的に伝えようとしていたか振り返り、これからも色々な本を読もうとすることができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">思考したくなる課題設定</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">心の扉があいたところの『ペープサートげき』はどうだったか、ふりかえろう。</p>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">自力解決の場</p> <p>(1) 心の扉があいたところの『ペープサート劇』の交流から発見したことや感想を書く。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">かかわり合う授業</p> <p>(2) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○君、大きな声で迫力あったね。</li> <li>・～の優しい気持ちがすごく伝わってきたよ。</li> <li>・あのペープサートの表情が気に入った。</li> <li>・あんなふうに間を取ると、感じが出るんだな。</li> <li>・ペープサート劇をする時、～の気持ちがよく伝わるように声の大きさを変えたり、速さを変えたりして読むことができたよ。</li> <li>・みんなの心の扉があいた所って、こういうところが多かったね。</li> <li>・ペープサートって楽しいな。</li> <li>・ぼくも友だちのペープサートでやってみたいな。</li> <li>・もっといろんな物語でもペープサート劇をしてみたいな。</li> </ul> <p>(3) ペープサートを交換し合い、いろんな物語のペープサート劇をやってみる。</p> <p>3 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんなペープサート劇ができて、楽しかったな。</li> <li>・あのお話のペープサートも作ってみようかな・・・。</li> <li>・本って楽しいな。これからももっともっといっぱい、いろんな本を読んでみたいな。</li> </ul>	<p>○どのセリフのどんな言い方がよかったか、どんな動かし方がよかったか自分や友だちの工夫していたところなども書くよう声をかける。</p> <p>○学習したことを振り返り、自分や友だちの発表のよかったところなども伝え合うようにする。</p> <p>○自分の感想と比べながら興味を持って聞くことができるようにし、友だちの意見の内容に対しての感想も返すようにする。</p> <p>☆「心の扉があいたところを『ペープサート劇』で紹介しよう』というめあてに向かい、意欲的に伝えようとしていたか振り返り、これからも色々な本を読もうとしている。</p> <p>【関】(行動観察、発言、ノート)</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">家庭学習のサイクル化</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>家庭学習</b>            『ペープサート劇』で、心の扉があいたところを紹介し合ったことをお家の人に伝える。         </p>	<p>○読書の楽しさを確かめ合い、読書活動を広げていこう話し次時の予告をする。</p>